

## 益田と映画とグラントワ

いわみ芸術劇場 文化事業課長

仲西 透

今年の4月にいわみ芸術劇場に異動してまいりました仲西です。益田

の勤務は初めてで、このたび家族で引越してきました。子供がまだ小さいので、初めて暮らす益田ライフを満喫しようと、オフの日にはイベントに出かけて石見神楽を観たり、温泉に出かけたりと楽しい日々を送っています。少しさびしく感じるのが、近くに映画館が無いことです。学生時代、映画少年だった私は、今の仕事に就いたのも映画がきっかけで、前職場の島根県民会館に事務局が置かれている「しまね映画祭」があったからです。ちょうど9月末から「第28回しまね映画祭」が開幕するタイミングでもあり、益田周辺の映画館の歴史を少し調べてみましたので映画祭とともにご紹介したいと

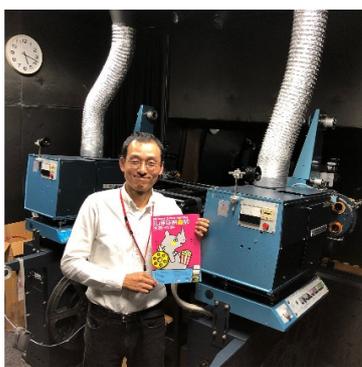
思います。

しまね映画祭が誕生したのは平成4年(1992年)。誕生の背景には、全国的な映画館数の減少がありました。昭和35年のピーク時には全国に7,500近くあった映画館ですが、カラーテレビの普及や娯楽の多様化に伴って減少の一途を辿り、平成5年には最小館数となる1,734館まで減少。島根県も例に漏れず昭和50年頃から閉館が相次ぎ、最大39館あった映画館が昭和50年からおよそ5年の間に一気に13館にまで減少。それまで仁摩や川本、津和野、日原など、県西部各地にあった映画館もこの時期までに軒並み閉館しています。益田市でも、益田中央映画劇場、石見館、益田館、益田セントラル、益田東映な

ど、様々な映画館が営業していましたが、やはり昭和40年代から50年代にかけて2館にまで減少し、その後平成20年(2008年)8月にデジタルシアター益田中央が閉館。県西部の映画館がすべて姿を消すことになりました。この「県西部唯一の映画館閉館」のニュースは、当時ちょうど映画祭事務局を担当していた私には結構ショッキングで、いまだに新聞記事の切抜きを保管しています。

そんな映画産業右肩下がり逆境の中、「映画館のない町に映画を届け、大きなスクリーンで楽しんでもらいたい」、「映画文化の灯を消すな」とスタートしたのがしまね映画祭です。県内各地の公立ホールを主な会場に毎年秋に上映を行い、今年で28回目の開催です。グラントワも10月と11月に上映を予定していて、昭和30年代の懐かしい邦画の上映もありますので、過去に益田の映画館で上映されていた作品もあるかもしれません。毎月1回の映画上映会「グラントワシアター」と併せてお楽しみいただければ幸いです。

映画って、みんな何かしら思い出があるもので、この原稿を書くにあたって益田出身の同僚数人に昔の映画事情を聞いたところ、「石西県民文化会館で『セーラー服と機関銃』を観た」とか、「初めて映画館で観た映画が益田中央の『セーラーームーン』だった」など、話は尽きることがありませんでした。これを機会にもう少し益田の映画館の歴史と映画にまつわるエピソードを調べてみたいと思っていますので、ぜひ当時の話を聞かせてもらえれば喜びます。どうぞよろしくお願います。



しまね映画祭のグラントワ会場では、いまでは貴重となった35mmフィルムの上映も行います。

## ボランティア活動

### 「神楽衣装グループ」

日本遺産の仲間入りをした石見神楽。子供の時から神楽に親しんでもらえるように

このグループでは 子供用の神楽衣装(陣羽織)を製作して 提供しています。

着物、帯など 持ちよって 裁断、手作りしています。毎月1回 ボランティア室です。

現在 メンバー5名。 参加者を募集しています。

### 「美術館ワークショップグループ」

石見美術館で企画する教育普及事業の支援をしています。

今回取材にお邪魔したときには今年の「きんさいデー」(10月6日)に出品する作品(手芸品)の準備中でした。

材料など各自持ち寄って 慣れた手つきで作業をしていました。どんな 作品になるのでしょうか?当日が楽しみです。



## あ と が き に代えて

芸術文化の発信を担い、グラントワがオープンして早いもので14年になるうとしています。NHK交響楽団演奏会も4回催されました。プログラムの前半にはピアノ協奏曲が演奏され、ソリストとしてチャイコフスキーコンクールの覇者、上原彩子さんの2度の来演があつたことなどが思い出されます。

11月17日(日)にはそのNHK交響楽団のOB・OGを中心としたN響団友オーケストラの演奏会があります。指揮とお話は作曲家・池辺晋一郎さんです。その昔、教育テレビ・N響アワの解説を長きにわたり担当されました。ダジャレも多用されて親しめるクラシックをコンセプトにされていたように思います。中でも女優・エッセイストの檀ふみさん司会でのコンビのころをよく覚えていきます。檀さんは(NHK連想ゲームでも長くご活躍)チャイコフスキーの大ファンで、いつ

も「チャイさま、チャイさま」とリスベクトされていたのが印象的でしたが、お二人の息がピッタリで毎週楽しみにしていたものです。現在でもNHK・FM放送で土曜夜に「N響ザ・レジェンド」を一緒にされていますが、少し本格的のクラシック番組ですね。番組内容にに応じて聴いて見られればと思います。

コンサートは「名曲シリーズ」(グラントワ合唱団も共演します)、「NHK大河ドラマのテーマ曲」、そして「映画音楽」には池辺晋一郎さんと、永年交友関係のある合唱指揮者・栗山文昭さん(いわみ芸術劇場芸術監督)のプレトークもあります。「なんとなくクラシック斬」や「篤姫」「影武者」の秘話なども飛び出すかも知れません。興味深く聞き逃さないコンサートとなることでしょう。

(大庭明博)



N響団友オーケストラ



指揮とお話 池辺晋一郎

©東京オペラシティ文化財団  
撮影：武藤章